

2016 年 1 月 19 日

チョコをあげたり、お返しする代わりに募金してみませんか？ カカオの国の子どもに笑顔を届けるため あげたつもり&お返しの代わりに「チョコ募金」 受付中

世界の子どもを児童労働から守るために活動する認定 NPO 法人 ACE(東京都台東区/代表 岩附由香)は、バレンタインデーの義理チョコ選びやホワイトデーのお返しに悩む代わりに、ガーナの子どもたちへの寄付を提案する“あげたつもり&お返しの代わりに「チョコ募金」”を受け付けています。寄せられた募金は、ACEが行う、ガーナ・カカオ生産地の子どもたちを児童労働から守り、学校へ継続して通えるよう支援する活動に役立てさせていただきます。



●義理チョコの代わりにガーナの子どもたちを支援するための寄付を

周りが義理チョコを配っているから仕方なく参加したり、地味に出費がかさむという女性の声や、チョコのお返しを考えることが大変という男性の声があります。そんな声を受け、義理チョコではない形で日頃の感謝の気持ちを伝え、なおかつカカオを作る国の子どもたちを笑顔にする方法として、“あげたつもり&お返しの代わりに「チョコ募金」”を企画しました。

○バレンタインデーにチョコレートを「あげるつもり」で

チョコレートをプレゼントする代わりに「今年のバレンタインは、ガーナの子どもたちのために募金をさせてもらいました」と伝えてみてください。そして、お返しの代わりに、ガーナの子どもたちの笑顔のために募金をお願いしてみてください。

○バレンタインにプレゼントをもらった「お返しの代わりに」に

バレンタインにプレゼントをくれた人に「お返しはガーナの子どもを笑顔にするための募金にしてもいいですか？」と聞いてみてください。快諾してもらえたら、お返しの代わりにチョコ募金への寄付をお願いします。

●チョコ募金のお礼に「ポストカード」と「リーフレット」をプレゼント（2月3日まで）

2016年2月3日(水)までにチョコ募金をお申込みしてくださった方には、「ポストカード」と「活動紹介チョコリーフレット」をお送りします。義理チョコの代わりに、お返しの代わりに寄付した団体と、その活動を紹介する際に活用いただけます。

「ポストカード」は、切手を貼って郵送することはもちろん、日頃の感謝の気持ちを書いてメッセージカードとしてプレゼントすることもできます。「リーフレット」は、ガーナのカカオ生産地の現状やカカオができるまで、カカオを作る人の暮らしについて説明が載っています。(※チョコ募金 1,000 円につき、ポストカードとリーフレットを1部ずつお送りします。)ウェブサイトから「チョコ募金」を紹介する説明用資料もダウンロードできます。

せっかく参加するのなら、贈る人や受け取る人はもちろん、ガーナの子どもたちに笑顔をプレゼントしませんか？

◆チョコ募金に関するお問い合わせ先

認定 NPO 法人 ACE(エース) 広報担当: 召田(メスダ)
TEL: 03-3835-7555 MAIL: press@acejapan.org

参考資料

◆教材で取り上げるガーナのカカオ生産地での児童労働について www.acejapan.org/choco/

チョコレートの原料カカオの生産地では、農薬の使用や森の伐採などにより生態系や環境が破壊され、地域の子どもたちが学校に行けずに危険な労働に従事するなど、さまざまな問題がおきています。ガーナを含む西アフリカ4カ国で、カカオ農園で数十万人の子どもが働き、そのうちの64%が14歳以下であることが分かりました(国際熱帯農業研究所、2002年)。

ACEが2008年2月にガーナのアシヤンティ州で行った調査では、子どもがカカオ作りのすべての工程に関わり、机やイスが足りないなど、学校の設備も不十分であることがわかりました。農園ではナタや農薬などを扱うため、ケガや病気の危険にもさらされています。カカオを収穫できるのはガーナの南の方だけ。産業が少なく、少しでもよい暮らしをしたいとガーナ北部や隣国ブルキナファソ、トーゴから移住してくる家族も少なくありません。ガーナのカカオ農園は小規模な家族経営であることが多く、子どもが家族の手伝いとして働いている場合もありますが、人身取引で連れてこられた子どもたちもいます。



◆認定NPO法人ACE(エース)の取り組み www.acejapan.org

ACE(エース)は、世界中のすべての子どもが権利を守られ、希望を持って安心して暮らせる社会を実現するため、市民と共に行動し、児童労働の撤廃と予防に取り組む国際協力NGOです。2014年にノーベル平和賞を受賞したカイラシュ・サティヤルティさんが呼びかけ、世界103カ国で行われた「児童労働に反対するグローバルマーチ」の日本での実施を目的に、1997年に代表の岩附をはじめ学生5人で団体を設立しました。

ACEは、2009年よりガーナ・アシヤンティ州のカカオ生産地区の4つの村で、子どもたちを危険な児童労働から守り、教育の質の向上と就学の徹底を目指して支援活動を行ってきました。村人たちの意識改革と組織化を図り、子どもたちの就学と労働状況を監視するための見回り活動と子どもの保護、子どもの教育への理解を促すための家庭訪問、貧困家庭に対する学用品支給、収入向上のためのカカオ農家への農業技術指導などを行っています。2014年12月までに、4村で約300人の子どもたちを児童労働から解放し新たに就学を実現。学校環境の改善や農家の技術、収入向上などを達成してきました。(2014年9月から新たに4つの村へ支援活動を拡大)

ガーナのカカオ生産地の他、インドのコットン生産地でも危険な労働から子どもたちを守るプロジェクトを実施し、日本で消費者を巻き込む啓発活動、政府や企業への提言活動、ソーシャルビジネスを通じた児童労働を解決するための活動を行っています。

＼ガーナのカカオ生産地ではこんな成果ができています／

- 440人の子どもが児童労働をやめ、学校へ通えるように！
- のべ4,000人の子どもが継続して学校へ通えるように！
- 村に児童労働を禁止する条例ができました！
- カカオの収穫量が増えて、農家の家計が安定しました！

＼日本の大手製菓メーカーから支援地産カカオを使った「児童労働のないチョコレート」も発売／

ACEは、森永製菓「1チョコ for 1スマイル」キャンペーンの支援パートナーです。対象商品の売上の一部がACEへ寄付され、支援してきた地区で児童労働をなくしてきました。そんな支援地で収穫されたフェアトレードカカオ由来のカカオマスを使用したフェアトレード認証チョコレートが森永製菓から発売されています。

2015年2月14日には、ガーナのカカオ生産地での取り組みや支援地カカオを使ったチョコレートが販売されるまでの経緯を綴った「子どもたちにしあわせを運ぶチョコレート。世界から児童労働をなくす方法(合同出版)」も出版。